

Program

ブラームス メロデーのように (ヴィオラ)

ヘンデル=上田素生

歌劇『セルセ』より

“オンブラマイフ” (トリオ)

歌劇『ジューリオ・チェーザレ』より

“涙のために生まれ” (トリオ)

マスネ 歌劇『タイス』より 瞑想曲 (ヴィオラ)

マスネ=上田素生 エレジー (トリオ)

フランク シルフ《空気の花》 (トリオ)

リスト 「まどろみのとき」 (メゾソプラノ)

サンサーンス=佐々木絵理子

歌劇『サムソンとデリラ』より

“あなたの声に私の心は開く” (トリオ)

メンデルスゾーン

無言歌集より (ピアノ) (ヴィオラ)

メンデルスゾーン

チェロとピアノのための無言歌 op.109 (ヴィオラ)

ブラームス

アルト、ヴィオラとピアノの為の2つ歌 op.91 (トリオ)

リヒャルト・シュトラウス

「献呈」 (メゾソプラノ)

「明日!」 編曲：上田素生 (トリオ)

ヴィオラと 声の 出会い



ヴィオラ／百武由紀

メゾソプラノ／三輪陽子

ピアノ／百武恵子



2026年

10月23日(金)

開場 18時30分 開演 19時00分

場所 代官山教会

〒150-0034

東京都渋谷区代官山町14-3

全席自由

一般 4,000円

学生 1,500円

お問い合わせ yukigule0321@gmail.com (百武)



百武由紀 Viola

東京藝術大学卒業。同大学院修了。浅妻文樹、W・プリムローズ、S・コロ各氏に師事。1999年まで東京都交響楽団に在籍し首席奏者を務める。東京都交響楽団、広島交響楽団、セントラル愛知、アカデミカ・アンサンブル、東京ゾリステン、ビルトーゾ横浜等と協演。現代曲の初演も多数手掛ける。1999年、日本音楽コンクール作曲部門の演奏に対して、審査員特別賞受賞。

2002年芸術祭参加リサイタル「20世紀フランス・ヴィオラ作品の音脈をたどって」を開催し、高評を博す。弦楽四重奏団「クアトロ・ピアチュレ」において、

2010年第65回文化庁芸術祭音楽部門大賞受賞。

「東京シンフォニエッタ」メンバー。2010年第10回佐治敬三賞受賞。

室内楽、ソロ、オーケストラと幅広く活躍。

『どのようなアンサンブルにあっても、常に音楽を活性化出来る類い稀なヴィオラ奏者』との評価を得る。現在、愛知県立芸術大学名誉教授、東京音楽大学特任教授、名古屋音楽大学客員教授。



三輪陽子 Mezzosoprano

愛知県立芸術大学音楽部声楽専攻卒業。同大学院音楽研究科声楽専攻修了。

第5回国際ワーグナー歌唱コンクール派遣対象者国内オーディション最優秀賞と特別賞を受賞。

平成20年度新進芸術家海外派遣制度在外研修員としてイタリアとオーストリアに留学。

新国立劇場オペラ公演、同劇場の鑑賞教室にて「エレクトラ」「カヴァレリアススティカーナ」「愛怨」「西部の娘」「ワルキューレ」「蝶々夫人」「影のない女」「鹿鳴館」等に出演。

宗教曲にて、モーツァルト「戴冠ミサ」「ハ短調ミサ」「レクイエム」

バッハ「ロ短調」「ヨハネ受難曲」ロッシニ「小荘ミサ」ヴェルディー「レクイエム」

ドヴォルジャーク「スターバトマーテル」ブルックナー「第3番へ短調」など数々のアルトソロとして出演している。

コンサートではベートーベン「第九交響曲」やマーラー「嘆きの歌」「復活」「大地の歌」「亡き子を偲ぶ歌」などのソリストを務める。

クロアチア、ウィーン、プラハ等の海外公演に出演 二期会会員



百武恵子 Piano

東京音楽大学、大学院を経て、パリ国立高等音楽院にて伴奏科、室内楽科を一等賞を得て修了。

2007年文化庁海外派遣芸術家海外研修員。フランス国際コンクール室内楽部門第一位。

在学中よりロンティボー国際コンクール、カザルス音楽祭、などに公式伴奏者として参加。

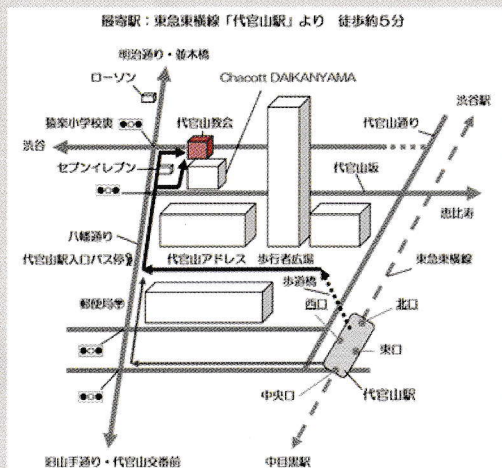
弦楽器クラス伴奏者を度々兼任し、パリ国立管弦楽団、フランス国立管弦楽団などのメンバーと共演。

09年に帰国。10年文化庁国際交流基金の支援のもとアルジェリアにてリサイタルを行う。

ピアノを三浦捷子、川上昌裕、伴奏法と室内楽をJ.ケルネル、山洞智、C.イバルディの各氏に師事。

近年、草津アカデミーにてA.シビリ氏、京都フランスアカデミー、ニースアカデミーにて

P.ロジェ氏のクラスを受講。東京音楽大学非常勤講師（伴奏、室内楽）。



場所 代官山教会

〒150-0034

東京都渋谷区代官山町14-3

東急東横線 利用：
代官山駅 徒歩5分

お問い合わせ・お申込みは

右記QRコードから

下記メールアドレスへ

yukigule0321@gmail.com (百武)

